

令和4年度 都庁インターンシップについて（報告）

1 受入部署

東京都環境局自然環境部

2 参加人数 8名（玉川大学、桜美林大学、武蔵野大学）

3 日程・実習内容

No	日程	実習内容	場所
1	8月23日(火)	・オリエンテーション ・グループ分け ・環境局自然環境部の事業説明 ・テーマについての説明 ・ディスカッション	都庁内会議室
2	8月24日(水)	・保全地域制度と生物多様性保全に係る取組について（講義） ・ボランティア団体による管理手法について（実習）	日野市七ツ塚ファーマーズセンター 日野東光寺緑地保全地域
3	8月26日(金)	・自然公園（秩父多摩甲斐国立公園）内の巡視、利用マナーの啓発、植生回復事業現場の視察（実習）	御岳山
4	8月30日(火)	・ディスカッション ・中間発表 ・都職員（ECO-TOP プログラム修了者）との意見交換 ・発表資料作成、発表準備	都庁内会議室
5	8月31日(水)	・発表資料作成、発表準備 ・成果発表会	都庁内会議室



2日目（講義）



2日目（保全地域実習）



3日目（自然公園実習）



5日目（最終報告）

3 参加者の感想

- ・他大学の学生と対面で議論し、現場での実習をできて新鮮だった
- ・保全地域で実際に活動している方から直接話を聞いたり、活動の一環を経験でき有意義だった
- ・自然公園での実習は体力的にも過酷だったが、都職員や都レンジャーから実際の維持管理の業務等について話を聞くことができよい経験になった
- ・グループで議論を重ね最終日の発表を行う形のインターンシップは経験がなく苦勞した
- ・都庁で実際に働く職員と同じ業務の手伝いをしたりできると都庁で働くイメージがわくと思う

4 都の所感

- ・対面で議論することで班ごとの仲も深まり、活発な議論ができると考える
- ・来年度以降も情勢を見ながら、令和4年度同様対面で、現場での実習も交えながら実施していきたい